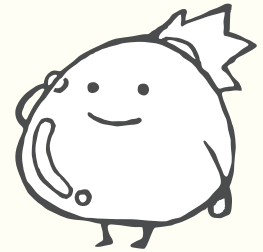


処理困難物

☑ 機械で処理をすると爆発・火災・故障などが起こる恐れがあるごみや、作業員がけがをしたり、健康を害したりする恐れがあるごみのことをいいます。

- 収集、分別作業上の危険があるもの(鋭利なもの、毒性のあるもの、爆発の危険があるもの、飛散するものなど)
- 機械的に処理困難なもの(硬いもの、巻き付くものなど)

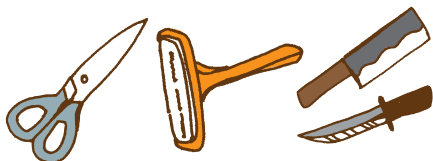


処理困難物選別施設(ペガサスとは別の場所)で選別します。その後、金属は金属原料、蛍光管はアルミ・ガラスなどの原料、電池はスチール・亜鉛・マンガンなどの原料としてリサイクルします。

》処理困難物に分類されるもの

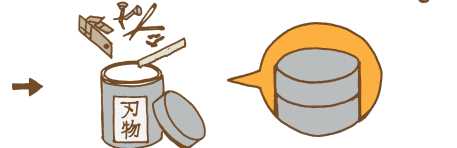
刃物類

はさみ、カミソリ、包丁、草刈機の刃、かま、のみなど



刃の部分は紙などで包んで、袋に入れて出してください。

針、カッターの折刃、釘、画鋸など



缶などの金属製の容器に入れ、ふたをして「刃物」と貼紙をしてください。

ガラス・陶磁器類

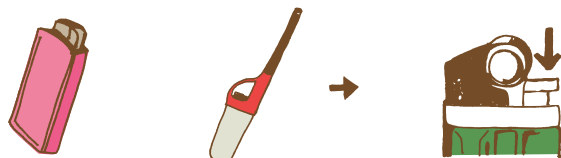
窓ガラス、コップ、茶碗、植木鉢、鏡など



紙などで包んで袋に入れてください。

ライター類

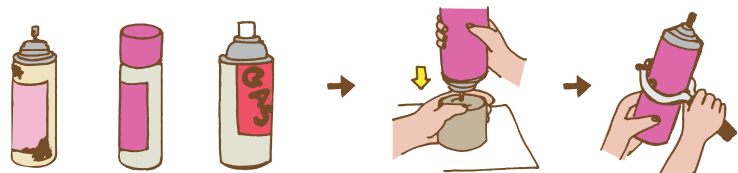
ライター、コンロ点火用ライターなど



操作レバーを押し下げ、ガスが無いことを確認してください。

ボンベ類

カセットボンベ、スプレー缶など



通気性の良い所で中身を出し、穴を開けて出してください。(どうしても穴を開けられない場合は、リサイクル推進課にお問い合わせください。)

※灰と蛍光管類は、他のものと一緒の袋に入ると、他の資源物が汚れたり、割れて資源化できなくなったりするので、灰は灰だけ、蛍光管は蛍光管だけの袋に入れてください。

灰

「火鉢」や「かまど」などからのもの



湿らせて、飛散ないように袋に入れてください。

蛍光管類

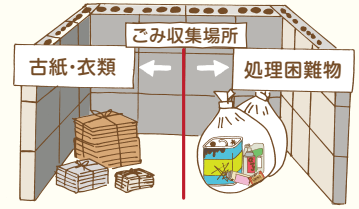
蛍光管、電球、グロー球など



割れないように包装されていたダンボールに入れるか紙などで包んでください。

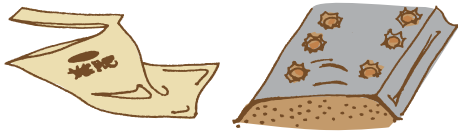
出し方

- ◎袋の中が容易に識別できる袋に入れて出してください。(指定ごみ袋の利用は不可)
- ◎袋の大きさは指定ごみ袋を目安とし、1回につき、おおむね3袋までを限度としてください。
- ◎「処理困難物」と「古紙・衣類」の収集日が重なった日はできるだけ分けて置いてください。



容器・フィルム類

家庭菜園用の土袋や肥料袋、マルチフィルムなど



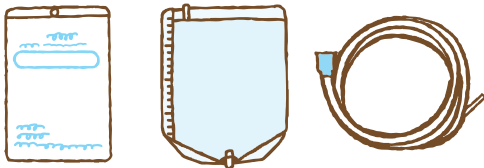
土などの汚れを落としてください。

家庭用洗剤で「まぜるな危険」と表示があるもの
家庭用薬剤で除草剤や殺虫剤などの容器



必ず使い切ってください。

在宅医療品(バッグ、チューブ、カテーテル等)



注射針などは医療機関などへ相談してください。

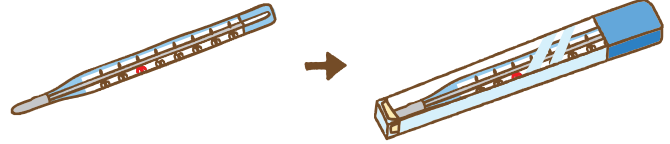
塗料・オイル・シンナーなどの空容器



使い切り、ふたをはずしたまま袋に入れてください。

体温計類

水銀を使用している体温計や温度計



専用ケースに入れ、割れないようにしてください。

長尺類

ワイヤー、メジャー(巻尺)、自転車等のチェーンなど
カセットテープ、ビデオテープなど



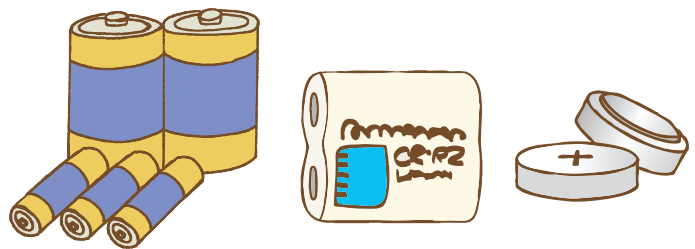
しっかり束ねて
出してください。

分解したり、テープを引き抜いたりする
必要はありません。

(施設に入ると機械に絡まり故障の原因になるため)

乾電池類

「使い切り」乾電池(マンガン、アルカリ)、
リチウム電池(カメラ用など)、ボタン電池など



充電式電池は市で収集できません。
家電小売店などの回収ボックスへ出してください。

粉末類

乾燥剤(石灰系、シリカゲル)
脱酸素剤、鮮度保持剤
使い捨てカイロなど



粘液状類

アイス枕、保冷剤
ゼリー状除湿剤、接着剤など



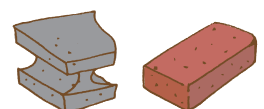
工具・鉄塊類

ドライバー、鉄アレイ
ペンチ、バールなど



れんが類

コンクリートブロック、
れんが、瓦類など



※1袋につき、10kg程度を限度としてください。